

群馬県在宅保健師「さちの会」

会報 さち

第20号
創立20周年
記念号



「令和元年度 第2回研修会」(12月12日)

会長あいさつ



川島 佐枝子

令和元年の会報「さち」第20号の発行にあたりご挨拶申し上げます。5月の定期総会にて会長の任を拝しました。会員、関係者の皆様のご支援とご協力を賜り頑張っていく所存ですのでよろしくお願いいたします。

さて、「さちの会」は平成11年に設立し、20周年を迎えました。地域の保健活動に貢献し、更に資質の向上、会員相互の親睦を図る活動をして来ました。特に、平成23年の東日本大震災を機に、研修会では災害支援の知識を深めると共に、視察研修では宮城県、福島県他の現地視察を積み重ねて来ました。その結果、市町村保健師の後方支援を担えればとの考えから、令和元年8月20日付けで「災害支援ボランティア実施要綱」を制定しました。今後、会員の協力を得て市町村の皆様と連携をとり、しっかり取り組んでいく所存です。

第2回研修会は20周年記念として、ドキュメンタリー映画「1000年後の未来へー 3.11保健師たちの証言ー」を製作、監督された都鳥伸也氏に講演して頂き、参加者一同大変感動し共感致しました。

今後、私達が経験した事を現職の皆様の参考にして頂くためにも交流を深め、共に緊急時における支援活動の一役を果たせればと思っています。さらに「さちの会」が目指す“笑顔輝く「さち」の地域づくり”のため、自身の健康を含め多くの方々の健康増進の一助となるべく活動してまいります。

祝辞

「さちの会」 創立20周年記念を祝して



群馬県国民健康保険団体連合会
常務理事 椋澤 康幸

群馬県在宅保健師「さちの会」創立20周年、おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

会員の皆様には、これまで市町村及び国保連合会の各種保健事業への支援をはじめ、地域住民の健康の保持増進に御尽力されてきたことに対しまして、改めて感謝申し上げるとともに、心から敬意を表する次第であります。

さて、国におきましては、医療費の増加や高齢化社会に対応し、健康寿命の延伸を図る取組が益々求められていることから、これを実現するために、国保の保健事業はもとより、令和2年4月1日からは「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」がなされようとしております。

群馬県国保連合会では、この一体的な実施については、国保データベース（KDB）システムを活用して市町村等への支援を行っていく予定ですが、今後は「さちの会」の皆様にも、KDBシステムについての情報提供や、その活用を支援していきたいと考えております。

また、本会では、昨年度から市町村支援として「特定保健指導利用勧奨事業」を実施し、電話による保健指導の利用勧奨を行っておりますが、今後も、より効果的な保健活動の支援となるよう、「さちの会」の皆様の御協力をお願いいたします。

「さちの会」では、昨年8月に「災害支援ボランティア実施要綱」を策定し、災害時における地域の保健活動の支援にも取り組む体制を整えたことは誠に意義があり、今後の活動にも大いに期待するところであります。

本会では、今後も会員の皆様の保健活動に役立つ情報を提供してまいりますので、会員の皆様におかれましては、健康には十分留意され、地域住民が健康で安心して暮らしていけるよう、御尽力をいただくとともに、本会の保健事業にも、引き続き御協力をお願い申し上げます。

結びになりますが、「さちの会」の益々のご発展と、会員の皆様方のご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。





「さちの会」20周年に 寄せて



群馬県健康福祉部医務課
課長 中島 高志

群馬県在宅保健師「さちの会」が、20周年を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。貴会は設立以来、豊富な知識と経験を生かして地域保健の向上に貢献し、さらなる質向上のために研鑽を続けて来られました。これもひとえに、会員の皆様をはじめ事務局の方々の熱意と努力の賜であり、改めて敬意を表します。

皆様は、長年にわたり住民の中で生活や生命と向き合う活動を実践し、その経験と信念を後輩達につなぐという使命感を持って、健康劇や現役保健師達との交流会、さらには災害支援ボランティア事業の構築など幅広く活動されています。このような取組を通して皆様の活動の本質が後輩達に受け継がれ、本県の保健師活動が、より一層充実するものと期待しております。

さて、人口減少や少子高齢化が急速に進展し、人びとの暮らしや地域のあり方が多様化してきています。こうした中、県では、誰もが住み慣れた地域で暮らし、より長く元気に活躍できる社会の実現を目指して、健康寿命の延伸や保健医療人材の確保等に取り組んでいます。

貴会におかれましては、20年の着実な活動を礎として、今後とも地域保健の推進に御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴会の今後ますますの御発展と、皆様方の御健勝、御活躍を祈念し、お祝いの言葉といたします。

「さちの会」創立 20周年記念号に寄せて



公益社団法人群馬県看護協会
会長 荻原 京子

在宅保健師「さちの会」が創立20周年を迎えられ、ここに記念号を発刊されますことに心よりお祝いを申し上げます。

貴会におかれましては、会員の皆さまが豊富な知識や経験を活かし、市町村の保健事業や地域の保健活動、災害支援に尽力されるとともに、研修開催等により自己研さんを積み、また会員相互の親睦を図るなど、多岐にわたる活動に取り組みまれておりますことに心から敬意を表します。

少子超高齢社会を迎え、地域包括ケアシステムの構築と推進が進められておりますが、医療と生活の視点を持つ看護職の活躍が、今ほど必要とされている時はないと言われております。日頃より地域包括ケアの実践者として、保健・医療・福祉と幅広く活動していただいております皆様には、元氣と勇気をいただいております。この大きなパワーの源は、皆様がお持ちの保健師としての責任感と信念につながる熱い思いであり、専門的知識を持って優しく人を思いやる気持ちと行動力が備わってこそその充実した活動ではないかと思えます。

群馬県看護協会は、看護の質向上、就労促進、看護の役割拡大と発展をめざし、事業を推進しております。「さちの会」の皆様のご理解ご協力をいただきながら、ともに力を合わせ、看護の力で健康な社会づくりをめざしてまいります。

結びに、今後も役員の皆さまをはじめ会員皆様のご健勝とご活躍を願いつつ、「さちの会」のますますのご発展を祈念いたします。



歴代会長の思い

植松 みよ

平成21年度～
平成22年度会長



「さちの会」創立20周年おめでとうございませう。

思い返せば在宅保健師の会の立ち上げから会員として名を連ねています。子育ての合間を縫って保健師の仕事をしてきた身としては打って付けの組織で、毎回の出席を楽しみにしていました。専門職としての研修に留まらず広く社会の状況に合ったものやその時のホットな話題も取り入れた研修会は視野を広げ、専門職としての自己研鑽にも繋がりました。また、群馬県各地で働く大先輩や同じ立場で働く保健師との親睦は、共感することが多く、同業者として心温まり活力が得られました。

丁度10年前に会長の任務を担い、会員と共に活動できたことは、今でも良い思い出となり甦ります。その頃より会費を払うようになり、ブロックの活動が始まったりと、少しずつ内容も変わってきました。一時100名を超える会員がいたのですが徐々に減ってきているのは少し残念です。本部より勧められた健康劇も今は定着し予防活動の一端を担っています。研修も被災地に赴いたり、現場の保健師の話を聴いたり充実した研修会だと思っています。

これからも「さちの会」が益々発展し地域の健康教育に役立つことを心より願っています。最後に国保連合会のご支援ご協力に感謝し、国保連合会の益々の発展を祈念いたします。



赤石 はる子

平成23年度～
平成26年度会長



平成23年3月11日、自宅で大きな揺れを感じ妊婦の娘と慌てて庭に飛び出し、見上げた北東の空の不気味な真っ黒い雲を今でも鮮明に覚えています。

東日本大震災から約2か月半後に就任し、4年間の活動は皆さんに支えられ「さちの会」としての防災活動の基礎づくりだったと思います。

震災から1年後の平成24年度研修会で、岩手看護短期大学の鈴木るり子教授より「2011.3.11東日本大震災からの復興 私達はこれから何をすべきかー岩手県大槌町の保健師による全戸家庭訪問健康調査から見えてきたことー」の演題で詳細にお聞きすることができました。

その半年後には現地、石巻市役所の保健課長さんの説明と地元保健師さんの案内で生々しい災害現場の実際に触れ、災害の恐ろしさ住民に一番近い存在の保健師はその時何をしなければならぬか等大きな課題を背負わされた思いでした。

平成25年度は長野県在宅看護職信濃の会の小林澄子氏から「長野県栄村の大震災から学ぶ保健師活動」を研修しました。

平成26年度は福島第一原発事故により仮設住宅で暮らす双葉郡浪江町の人たちとの交流会と、福島県在宅保健師の会「絆」との交流会を実施しました。その中で、自らも被災しながら住民の安否確認に奔走した実体験を聞き、身に迫るものを感じました。翌日は飯館村で支援活動が続ける草津町の土屋由美子保健師の報告や村の保健師さんから被災で地元を離れた住民の追跡調査など想像を超えた実態を知りました。

そして任期最後の事業では、平成27年2月、映画「1000年後の未来へー3.11保健師たちの証言ー」の上映と製作に携わったNPO法人公衆衛生看護研究所事務局長 菊地頌子氏の講演「東日本大震災をきっかけに改めて看護職の存在を見つめなおす」には、学生さん68名を含む330名の参加がありました。

災害は自然災害だけではありません。群馬県の保健師たちは30年前、あの「日航機御巣鷹山墜落事故」という大惨事を経験しました。その活動記録が残されていないことを知り、当時携わった保健師の、研修会での伝えたいこと等の内容を中心に冊子作成に取り掛かりました。その大仕事は後輩に繋ぎ、平成28年5月に「日航機御巣鷹山墜落事故30年目の記憶ー群馬の保健師たちの証言ー」が発刊されました。

その他、平成26年3月群馬県国保連合会発行「今、想いをこめて未来につなぐ～新たな一歩を踏み出す群馬の保健師活動～」の発刊に関わる中で、活動の歴史と共にその時々追い求めてきた保健師像に触れることができました。

過去は現在に現在は未来へ繋がっています。先輩たちが繋いでくれた保健師魂をあなた方に託します。今度はあなたから後輩にしっかり手渡してほしい。

私は今、後期高齢者となりこれからは保健師の看板を疲れないう程度に背負いつつ、「さちの会」活動もゆっくりとついて行きたいと思います。



鈴木 いせ

平成27年度～
平成30年度会長

「さちの会」20周年おめでとうございます。

平成最後4年間の活動に携わる中で一番印象に残ったのは、「日航機御巣鷹山墜落事故30年目の記憶ー群馬の保健師たちの証言ー」を作成できたことです。総会時報告していただいた内容のテープおこしから始まり、加えて救護活動に従事した経験を持つ保健師にも原稿を沢山寄せていただきました。「こんなに年月が経ってから…」と思われた人もいるでしょう。文章を読むとあの大きな事故を振り返り、記憶を呼び起こす作業がいかにか辛いかにか想いが至ります。「心の整理をつけるには良い時期だった」と言ってくれた言葉に救われました。会員の皆様、関係機関にお送りし沢山の反響をいただきました。その後、会として視察研修として御巣鷹山に慰霊登山を実施できたことで一連の締めくくりとなりました。

「さちの会」では、東日本大震災以後ずっと災害支援の学びを深め、自分たちに何ができるのかを考えて来ました。今や地球温暖化もあり、自然災害に想定外はないと言われています。全国の情報を集め、検討を重ねてボランティア要綱をお示しすることができました。不備な部分は実施する中で改善して欲しいと思います。

生涯現役を貫いた先輩の背を追いつつも健康寿命の文字がちらついて来ます。令和と20年目のスタートにあたり現役の保健師や地域の皆様に支援ができる「さちの会」の新たなスタートができる事を祈っています。

会員からひとこと

中・北毛ブロック

「災害とボランティア」

青島 謹子

平成27年3月、創立15周年号が発行された。それから5年、20周年を迎える。昨年10月台風19号があり、人的、物的損害が甚だしく、ボランティアの必要が大きかった。「さちの会」では、ボランティア活動協力の可否を調査している。保健師としては、ボランティア参加は必須のことである。しかしボランティアを必要とすること自体は不幸なことと言わねばならない。(令和元年11月)

上原 カツ江

「さちの会」創立20周年おめでとうございます。退職して十数年経ちました。退職後、数年間は看護協会役員や非常勤講師（看護学校、保育大学校等）等でお世話になりました。現在は、ボランティア2ヶ所（前橋市消費生活啓発員の会、町内の買物支援）と趣味2つの日常です。今後ともよろしく願い致します。



児玉 悦子

「さちの会」は、今年20周年。私が参加する「群馬県緑のインタープリター会」（自然の大切さを伝える）の活動も来年で20周年。事務局を担当して6年目。活動は、「さちの会」と同じ時期に重なる。20年は、長い様な短い様な不思議な感じた。今後も活動を続けたいと思う。

高山 陽子

冬枯れの景色に、赤の山茶花、黄色の柚子が陽だまりをさらに暖かくさせている散歩道。お茶に誘われ、大根、白菜、ちくわの入った炒め物をふるまわれ、人を招き入れる笑顔と心に温もりと、うれしさを感じる今日この頃です。改めてこの会を存続されて来られた諸先輩のみなさまにお礼を申し上げます。

丸山 律子

「さちの会」の研修会等に参加させていただくと、熱気溢れるお話を聴くことができ勉強になったり元気をもらえたりしています。また、このような場を設けてくださる役員の方や事務局の皆様本当にありがとうございます。これからも楽しみにしております。

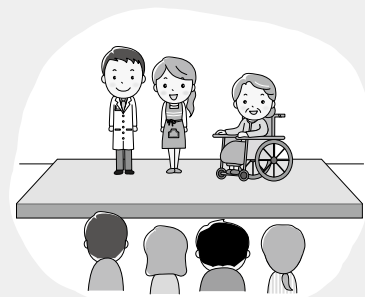
「『さちの会』と私」

武政 礼子

私が平成23年に親の介護を終えて「さちの会」に参加した時、中毛ブロックでは健康をテーマに寸劇に取り組んでいた。最初に高齢者のサロンで行った時の緊張は忘れられないが、私もいつの間にかメンバーとなり楽しんでいました。私はこれからも「さちの会」で仲間と楽しく学びながら、またウォーキングも続けて生活を充実させたい。

山野 紀美江

「さちの会」は、研修会やブロック別活動のほか、国保連合会の特定保健指導利用勤奨事業への協力、災害ボランティア支援など活動範囲が広がってきています。20年積み上げてきた歴史を、これからもコツコツと繋げていけるようにと思っています。



西毛ブロック

「ありのまま」

大塚 和子

役員の皆様には大変お世話になり感謝申し上げます。早くも八何半ば過ぎた私ですが、西毛地区の健康劇で痴呆老人役をしています。

呆け予防に漢詩を学び、自作詩を吟じたり、週一回指導を受けています。

力学無成悔己遅
(努力し学んだ詩は、その甲斐もなく悔いても己に遅い。)
白髪空餘天欲曙
(白髪のみいたずらに増え、また一年が終わろうとしている。)

心身ともに健やかに来る年も有意に生きたい。

いのち 「生命の貯蓄体操で生涯現役！」

高橋 和子

私の趣味は野菜づくり。いろいろな野菜を自分で作ると、ケチケチしないでたっぷり食べられるのが良い。こんな野菜づくりがいつまでも出来るように生命の貯蓄体操で身体づくりをしている。腰が痛くなったときは、体操で念入りにコリをほぐすとスッキリと楽になる。この生命の貯蓄体操は「さちの会」の会員の中にも指導者が何人もいます。皆さんにお勧めしたい健康法です。

土屋 和子

「さちの会」西毛ブロックの健康教育は寸劇を入れてしています。私は認知症予防の寸劇で娘役、認知症の母親役は20歳年上の大先輩です。先輩は名女優でなお且つ毎回参加者に合わせてのアドリブで笑いを誘い楽しく分かりやすい内容で実施し充実した時間を過ごしています。先輩の年齢まで活動できるか自信はないけれど見習っていきます。よろしく願いいたします。

「楽しい健康劇」

松本 勝代

西毛地区で健康劇を始めて10年になります。シナリオはテレビの「ためしてガッテン」や、健康番組、新聞の健康記事等から題材を集めて作っております。劇はアドリブ自由、名女優・大女優がおもしろおかしく演じてくれます。お陰で会場は大笑い。楽しかった、ためになったと好評です。やっている方も楽しんでおります。



東毛ブロック

杉山 友江

私は会が発足され7年目を迎えた年に入会。保健師現役時代から先輩や後輩の皆さんに叱咤激励され温かな指導と見守りで過ごす事ができた。この事は生涯にわたり有り難い事だと思っている。また、会で先輩たちに会うと元気で矍鑠としていて、その姿にいつも感動して帰った。今の私は先輩をお手本に生活する毎日です。

田島 富江

2010年3月に現役を退いて、早10年になろうとしています。お陰様で無病息災に過ごしております。「保健師」とは健康を保つ(自他共に)ことを職業とする人という事になると思います。人が健康で過ごすには、「栄養・運動・休養」が大切であると教えられてきました。そこで、私が健康でいられるのは何故かなと改めて考えてみました。

1. 食事は、腹八分で好き嫌いはあまりない事。
2. 40年位前、国保連合会の研修会で受けた自彊術という健康体操を、今も仲間と続けている事。
3. 趣味の篠笛を、15年以上仲間と続けている事。

自彊術体操も篠笛も腹式呼吸をするので、知らず知らずの内に健康につながっているのだと、改めて思います。「継続は力なり」という事でしょうか。

歴代役員・ブロック世話人名簿

初代～令和元年度まで

年度	役員						ブロック世話人				
	会長	副会長	副会長 (事務局長)	幹事			顧問	中毛※	西毛	東毛	北毛
H11年度	小川 幸子	恩田 光代		阿部まさ子	藤田 とみ	宮下 歌子	山本 波子				
H12年度	小川 幸子	恩田 光代		阿部まさ子	藤田 とみ	宮下 歌子	山本 波子				
H13年度	山本 波子	宮下 歌子		齋藤すい子	藤田 とみ	植松 みよ	橋木美佐子				
H14年度	山本 波子	宮下 歌子		齋藤すい子	藤田 とみ	植松 みよ	橋木美佐子				
H15年度	山本 波子	宮下 歌子		青島 謹子	大塚 和子	植松 みよ	橋木美佐子				
H16年度	山本 波子	青島 謹子		児玉 悦子	大塚 和子	植松 みよ	橋木美佐子				
H17年度	青島 謹子	植松 みよ		児玉 悦子	大塚 和子	村田美知代	星野智恵子				
H18年度	青島 謹子	植松 みよ		赤石はる子	大塚 和子	村田美知代	星野智恵子				
H19年度	青島 謹子	植松 みよ	品川 孝恵	赤石はる子	鈴木 いせ	村田美知代	星野智恵子	内堀千代子	松本 勝代	亀山 タケ	宮下 歌子
H20年度	青島 謹子	植松 みよ	品川 孝恵	赤石はる子	鈴木 いせ	村田美知代	宮崎 孝子	内堀千代子	松本 勝代	亀山 タケ	宮下 歌子
H21年度	植松 みよ	赤石はる子	品川 孝恵	青島 謹子	鈴木 いせ	河野 清江	宮崎 孝子	狩野さみ子	松本 勝代	亀山 タケ	
H22年度	植松 みよ	赤石はる子	品川 孝恵	青島 謹子	鈴木 いせ	河野 清江	川井 真弓	狩野さみ子	松本 勝代	亀山 タケ	
H23年度	赤石はる子	鈴木 いせ	品川 孝恵	青島 謹子	植松 みよ	鬼形イシ子	川井 真弓	狩野さみ子	松本 勝代	亀山 タケ	
H24年度	赤石はる子	鈴木 いせ	品川 孝恵	青島 謹子	植松 みよ	鬼形イシ子	川井 真弓	狩野さみ子	松本 勝代	亀山 タケ	
H25年度	赤石はる子	鈴木 いせ	品川 孝恵	青島 謹子	植松 みよ	狩野さみ子	川島佐枝子	新井 静江	松本 勝代	杉山 友江	
H26年度	赤石はる子	鈴木 いせ	品川 孝恵	青島 謹子	植松 みよ	狩野さみ子	川島佐枝子	新井 静江	松本 勝代	杉山 友江	
H27年度	鈴木 いせ	川島佐枝子	品川 孝恵	田子 真弓	阪本ゆかり	狩野さみ子	赤石はる子	新井 静江	鬼形イシ子	杉山 友江	
H28年度	鈴木 いせ	川島佐枝子	品川 孝恵	田子 真弓	阪本ゆかり	狩野さみ子	赤石はる子	新井 静江	鬼形イシ子	杉山 友江	
H29年度	鈴木 いせ	川島佐枝子	田子 真弓	武政 礼子	高山 陽子	高橋 和子	赤石はる子	剣持 君枝	鬼形イシ子	高橋 好美	
H30年度	鈴木 いせ	川島佐枝子	田子 真弓	武政 礼子	高山 陽子	高橋 和子	赤石はる子	剣持 君枝	鬼形イシ子	高橋 好美	
R元年度	川島佐枝子	武政 礼子	田子 真弓	高山 陽子	土屋 和子	鈴木 いせ	赤石はる子	新井 静江	鬼形イシ子	高橋 好美	








※中毛ブロックは、平成24年度から北毛ブロックと合併し、
中・北毛ブロックとなりました。

「さちの会」10年の歩み（平成21年度～平成30年度まで）

※講師等氏名の敬称省略 ※写真は太字内容

年度 (西暦)	視察研修会 (●…県外、○…県内)	会員研修会	その他、会に関するできごと	保健師等研修会 (旧「在宅保健師等研修会」) (群馬県国保連合会事業)	在宅保健師派遣事業 (群馬県国保連合会事業)
H21 (2009)	●長野県 ・保健婦資料館 ・長野県在宅看護職の会	・総会時研修会 「ストレスと上手につきあうコツ」 東京福祉大学 教授 手島茂樹	・年会費1,000円の徴収開始 ・「さちの会」創立10周年 ・福島県在宅保健師の会 視察受け入れ ・中毛ブロック 会員アンケート調査、研修会 ・西毛ブロック 健康劇初演（高崎市中居公民館）	・「玉村町モデル事業における「特定健診と受診に関する訪問調査」結果報告」 東京福祉大学 教授 手島茂樹	・さわやか・のびのび体操の普及事業 ・特定健診等支援モデル事業
H22 (2010)	●埼玉県 ・やどかりの里（精神障害者作業所他） ・埼玉県在宅保健活動者「青空の会」	・総会時研修会 「みんなの尾瀬をみんなで守り、みんなで楽しむ」 尾瀬保護財団 安瀬智仁 ・現役世代の在宅保健師研修会	・設立10周年祝賀会 ・第13回全国地域保健大会 日本公衆衛生協会表彰を受賞 ・会に顧問1名設置（総会にて決定） ・西毛ブロック 健康劇4回上演 ・東毛ブロック 研修会	・「特定健診等支援モデル事業報告と心理学から学ぶ未受診者等のアプローチの方法」 東京福祉大学 講師 松坂秀雄	
H23 (2011)	○高崎市 ・高崎市保健所 ・高崎総合医療センター	・総会時研修会 「群馬県の精神保健活動の歴史から学ぶ」 精神科医・作家 中沢正夫 ・「未来につなぐ保健師活動」研修会 「さちの会」顧問 内堀千代子 草津町健康推進課長 土屋由美子	・東日本大震災被災者支援活動 於：草津町 対象：南相馬市からの避難者 「保健師の歴史編さん」協力委員会発足 ・健康劇研修会 ・中毛ブロック 健康劇初演（前橋市紅雲町） ・西毛ブロック 健康劇7回上演 ・東毛ブロック 学習会「公衆衛生を支える保健師と保健師」 「さちの会」への補助金支出が群馬県国保連合会から厚生労働省になる。	・「保健指導者自身が幸福であるために」 東京福祉大学 講師 松坂秀雄	・元気なまちづくり支援モデル事業 ・特定健診等周知事業
H24 (2012)	●宮城県 石巻市役所  高崎市保健所 	(名称変更) 第1回研修会 「2011.3.11東日本大震災からの復興私達はこれから何をすべきか - 岩手県大槌町の保健師による全戸家庭訪問健康調査から見えてきたこと-」 岩手看護短期大学 専攻科主任 教授 鈴木るり子 ・第2回研修会 (1)「公衆衛生を支える保健師と保健師活動」 群馬県在宅保健師「さちの会」幹事 青島謙子 (2)「住民とともに歩むこれからの公衆衛生活動」 高崎市保健所長 津久井智	・「保健師の歴史編さん」協力委員会を事業化 ・長野県在宅看護職の会信濃の会との交流会 ・宮城県在宅保健活動者連絡協議会「げやきの会」の視察受け入れ ・千葉県在宅看護職等の会「まさの会」の視察受け入れ ・中毛ブロックと北毛ブロックが合併し、3ブロックに ・健康劇：中・北毛ブロック 9回上演 西毛ブロック 5回上演 ・東毛ブロック「手ぬぐいを利用した手作り帽子」作成（視察研修での石巻市への手土産） ・さわやか・のびのび体操を活用した保健活動支援事業研修会 群馬大学 理学療法士 浅川康吉	・「家庭訪問を手段とした医療費適正化に向けた保険者の取り組みについて」～群馬県国保連合会のモデル事業を通して～ 群馬大学大学院保健学研究科 教授 佐藤由美 ・モデル事業報告 (1)重傷多受診者への家庭訪問について 草津町健康推進課長 土屋由美子 (2)特定健診の継続未受診者への家庭訪問について 玉村町保健センター長 原田清子 神流町保健福祉課 黒澤節美	・小規模保険者支援

年度 (西暦)	視察研修会 (●…県外、○…県内)	会員研修会	その他、会に関するできごと	保健師等研修会 (旧「在宅保健師等研修会」) (群馬県国保連合会事業)	在宅保健師派遣事業 (群馬県国保連合会事業)
H25 (2013)	○富岡市 ・富岡製糸場 ・富岡市役所	・第1回研修会 (1)「ことうたれ(強情)保健婦・五十嵐松代氏に学ぶ ～保健師って、何たるう？住民を愛し、住民の中で、住民とともに歩んできた～」 元新潟県北魚沼郡守門町保健婦 五十嵐松代 (2)情報交換会 ・第2回研修会 「長野県茶臼の地震災から学ぶ保健師活動」 長野県在宅看護職信濃の会 小林澄子	・保健師の歴史編さん事業 冊子「今、想いをこめて未来につなぐ～新たな一歩を踏み出す群馬の保健師活動～」の発刊 健康劇：中・北毛ブロック 12回上演 西毛ブロック 8回上演 ・東毛ブロック 地区ブロック会員交流会 2回 ・「さわやか・のびのび体操を活用した保健師活動支援事業研修会」 群馬大学 理学療法士 浅川康吉	「身近なものから地域の特性を考える～地区診断を見直すきっかけに～」 西内義雄 	さわやか・のびのび体操を活用した保健活動支援事業 ・特定健康等周知事業
H26 (2014)	●福島県 ・福島市内仮設住宅 会「絆」 	・第1回研修会 (1)「新たな一歩を踏み出す群馬の保健師活動」 (歴史編纂の冊子を基に発表会) (2)グループワーク ・第2回研修会 (1)「東日本大震災をきっかけに改めて看護職の存在を見つめなおす」 NPO法人公衆衛生看護研究所 事務局長 菊地綾子 (2)ドキュメンタリー映画 「1000年後の未来へ」 —3.11保健師たちの証言—	・設立15周年 「地域づくりによる介護予防推進支援モデル事業」(厚生労働省)の密着アドバイザーに会長が就任。(モデル地区：邑楽町) ・月刊誌「群馬よもうりhuman」に活動の記事と写真が掲載。 ・公共ラジオ「前橋cityエフエム」に会長インタビュー(ドキュメンタリー映画上映関連) ・健康劇：中・北毛ブロック 9回上演 西毛ブロック 8回上演 ・東毛ブロック 地区ブロック会員学習会 1回 現役保健師との交流会と学習会 1回	「保健活動に用いる免疫力アップの知識と技術」 日本自然医療協議会認定リンパ療法士・日本リフレクソロジー協会認定リフレクソロジーセラピスト 辻谷洋子 	
H27 (2015)	○太田市 他 ・田中正造記念館 ・製粉ミュージアム ・足尾銅毒展示室	・第1回研修会 「日航機御東鷹山墜落事故から30年…群馬の保健師たちの証言」 元藤岡保健所保健師長 飯島恵子 元藤岡市保健師 岩崎桃恵 ・第2回研修会 ※保健師等研修会(国保連合会主催)と合同(共催)で開催	・地域づくりによる介護予防推進支援モデル事業」(厚生労働省)(モデル地区：板倉町) ・内堀千代子姉を偲ぶ会 講習会(国保連合会主催)の参加 健康劇：中・北毛ブロック 10回上演 西毛ブロック 8回上演 ・東毛ブロック 会員研修会 1回 冊子編纂事業 「日航機御東鷹山墜落事故から30年—群馬の保健師たちの証言—」 	「歴史から学ぶ保健師活動の原点」 NPO法人公衆衛生看護研究所 保健婦資料館 事務局長 菊地綾子 ※「さちの会」第2回研修会と共催	

<p>年度 (西暦)</p>	<p>視察研修会 (●…県外、○…県内)</p> <p>●新潟県 ・やまこし復興交流館 おらたる ・おちや震災ミュージアム そなえ館</p> 	<p>会員研修会</p> <p>・第1回研修会 「飯館村での保健師活動から伝えたいこと」 元草津町役場保健師 土屋由美子</p> <p>・第2回研修会 (1)「最新の糖尿病の知識と保健指導の要点」 日高病院糖尿病科部長 伴野祥一</p> <p>(2)グループワーク</p> <p>・健康劇研修会 高崎演劇鑑賞会理事長 中野敏子</p> 	<p>その他、会に関するできごと</p> <p>・冊子発行 「日航機御巣山墜落事故から30年～群馬の保健師たちの証言～」 上毛新聞に取り上げられる。(上記冊子について) ・群馬テレビ (ニュース Eye) に会長以下3名が出演。(上記冊子発行について) ・健康劇：中・北毛ブロック 11回上演 西毛ブロック 11回上演 東毛ブロック 1回 ・糖尿病重症化予防支援事業報告及びシンポジウム (国保連合会主催) への出席</p> 	<p>保健師等研修会 (旧「在宅保健師等研修会」) (群馬県国保連合会事業)</p> <p>・「現場の保健指導者に期待すること～健康寿命延伸へ～」 千葉県病院事業管理者 (病院局長) 千葉大学客員教授 医学博士 矢島鉄也</p> 	<p>在宅保健師派遣事業 (群馬県国保連合会事業)</p> <p>・常勤及び嘱託保健師不在となり、事業縮小のため、さわか・のびのびのび体操を活用した保健活動支援事業を休止。</p> <p>・特定健診等周知事業</p>
<p>H28 (2016)</p>	<p>○上野村 ・感霊の園 ・御巣山の尾根感霊堂 山 (旧黒沢家住宅見学)</p> 	<p>・第1回研修会 「災害時の保健活動について～熊本への被災地派遣から～」 群馬県健康福祉部医務課看護係補佐 (看護係長) 原澤和代</p> <p>・第2回研修会 「災害時対応研修会」 (1)講話と実技 赤十字健康生活支援講習指導員 新井眞子 (2)「さちの会」活動紹介</p> 	<p>・健康劇：中・北毛ブロック 11回上演 西毛ブロック 7回上演 東毛ブロック 会員交流会 2回</p> <p>・健康劇：中・北毛ブロック 9回上演 西毛ブロック 12回上演 東毛ブロック 1回 会員交流会 1回 現役保健師との交流 1回 市町村等訪問による現役保健師との情報交換 14回</p>	<p>・「健康寿命延伸に向けた保健事業について～国の動向・最新事情を踏まえて～」 千葉県病院局長 矢島鉄也</p>	<p>・特定保健指導利用勧奨事業 (下仁田町)</p>
<p>H30 (2018)</p>	<p>●長野県 ・保健婦資料館視察 ・長野県在宅看護職 濃の会との交流</p> 	<p>・第1回研修会 「慢性腎臓病～雷岡クリニックの現状から過疎地域の透析療法を考える～」 医療法人社団日高会 雷岡クリニック・日高リハビリテーション病院 透析室統括室長 高橋 伴彰</p> <p>・第2回研修会 (1)「糖尿病患者への栄養指導の実践」 医療法人社団日高会 日高病院栄養課 管理栄養士 横山 祐花</p> <p>(2)「さちの会」活動紹介</p>	<p>(1)「特定保健指導に関する研究成果を保健事業に活用する意義」 群馬県立県民健康科学大学 看護学部看護学科教授 齋藤基</p> <p>(2)「特定保健指導における未利用の理由の構造から明らかになった事」 高崎健康福祉大学保健医療学部 看護学科講師 赤堀八重子</p> <p>事業報告 「平成30年度特定保健指導実施率向上のための電話勧奨事業について」 国保連合会保健事業推進室 課長補佐 茂木由紀</p>	<p>・特定保健指導利用勧奨事業 (下仁田町)</p>	<p>・特定保健指導利用勧奨事業 (下仁田町)</p>

令和元年度の活動から

総会

期日 令和元年5月24日（金）午前

場所 群馬県市町村会館

出席 22名

議長に佐々木かほるさんを選出。昨年度の事業及び決算を報告し、今年度事業計画及び予算案について、承認を得ました（但し、「災害支援ボランティア要綱」の内容については後日役員会にて一部修正の上、承認となった）。

総会終了後は、地区ブロック別に会員が集い、災害支援ボランティア等について意見交換しました。



議長の佐々木かほるさん

第1回研修会

期日 令和元年5月24日（金）午後

場所 群馬県市町村会館

出席（会員）26名、（市町村、県）10名

講演1「ぐんまの防災」

講師 群馬県総務部危機管理室

主任 志茂 淳之介 氏

講演2「児童虐待防止について」

講師 群馬県中央児童相談所

所長 栗原 真由美 氏



志茂氏



栗原氏

第1回研修会に参加して

山野 紀美江

「ぐんまの防災」については、最近の災害等の発生状況や群馬県の危機管理体制、災害への備えなどについてお話がありました。

「最近では、広島県や岡山県などの豪雨災害、北海道や熊本県の地震、台風による被害、県内でも草津白根山の噴火などが起きている。群馬県の地勢等からは、土砂災害・山林火災、噴火災害、震災、風水害や雪害などが起こりうる。」とのことでした。

「災害の備えとしては、阪神・淡路大震災の教訓から、防災、減災の基本は自助、共助である。自分の身は自分で守るために、避難に必要なものの備蓄や避難場所の確認などを行う。自らの判断で避難行動をとること。共助では、普段から地域のつながりを大事にすること、そして、情報提供や救援・救助、支援などの公助とが協力し合い、災害に取り組んでいくことが必要である。」とのことでした。

もしもの時に対応できるよう、普段からの備えを忘れないよう、日頃の努力と啓発活動の大切さを感じました。

「児童虐待防止について」では、「県内の児童相談所での相談件数は年々増加し、平成30年度は1374件であった。相談内容は、心理的が49%、次いで身体的、ネグレクトの順となっている。年齢別では小学生以下が81%であり、主な虐待者は実母50%、実父35%と、実の親が85%を占めている。」とのことでした。

「虐待発生の変因として、保護者の被虐待歴、愛着不全などや家庭内のストレス、社会的孤立、子どもの発達や障害などがある。虐待された子どもは、心身の発達や人格形成にも悪影響が出てくる。」とお話がありました。

児童相談所の権限が強化されてきていますが、地域のつながりが希薄になる中で、家庭の中で、小さい子どもに起きているので気づきにくいこともあると思います。悲惨な事件を繰り返さないためには、SOSを見逃さないよう、早期に発見、フォローし、子どものケアはもとより、親のケアもすると共に、子どもを守り、育てられる環境についても考えていかなければならないと感じました。

視察研修会

期日 令和元年8月6日（火）

場所 （午前）臨江閣 見学

ボランティアによる解説

（午後）前橋赤十字病院 見学

群馬県災害機関病院としての機能説明、ドクターヘリ・ヘリポート等施設見学

出席 （午前）25名 （午後）33名



臨江閣と前橋日赤視察研修に参加して

伊原 よし江

前会長の鈴木さんが「佐侯先生をお誘いしたので一緒に行きましょう。」と声をかけてくださり嬉しく参加させていただきました。

佐侯先生には富岡製糸場の視察研修以来お会いしていないこと、先生は私が保健婦学科の学生時代の恩師です。車中で沢山お話ができてとても嬉しかったです。

臨江閣へ着くと玄関で「さちの会」の川合さんが出迎えてくださいました。川合さんは前橋市の観光ボランティアで臨江閣の解説員としてご活躍とのこと、素敵な活動ですね！解説員の方と川合さんのお二人で丁寧に説明していただき、有意義な時間が過ごせました。初代県令楢取素彦は難治県と言われた群馬県を徳治により治め、教育と産業の振興に力を注ぎ、県会と力を合わせて廃娼県群馬への道を切り開きました。臨江閣は楢取素彦の提言により地元有志や企業の寄付で建設された迎賓館です。明治天皇の行幸の際、行在所として使われ、大正天皇が皇太子時代に御滞在されました。二階の上段の間には大正天皇の漢詩が掛けられており、富岡漢詩の会の初心者教室で教えている鈴木さんにその漢詩を読んでもらいました。別館二階の大広間に柱が立ててなくても丈夫な訳は、床下に太いワイヤーが張ってあるため、と川合さんに説明してもらいました。昇降機が有り、車椅子

の方も二階が見学できるようになっていたことも大変良かったです。

デザート付きの美味しい昼食後、前橋日赤の視察を行い、事務の方と看護師のお二人に対応していただきました。田んぼの中のモンサンミシェル新病院は「みんなにとって優しい頼りになる病院」をコンセプトに施設設備だけでなく医療機能も充実強化し、高度急性期、救急医療を担う中核病院として24時間、365日どんな患者も絶対断らない、命を守る最後の砦として活動しています。また、群馬県唯一の基幹災害拠点病院として大規模災害に備える設備をしています。ICUは全室個室、全病床の約半分が個室。サイバーナイフの導入、AIH（人工授精）の取り組み等研修できました。



第2回研修会

期日 令和元年12月12日（木）午後

場所 群馬県市町村会館

出席 会員27名、現役保健師等6名

講演1 『『さちの会』創立20周年をお祝いして ～在宅保健師に期待すること～』

講師 国民健康保険中央会常務理事

中野 透 氏

講演2 「やさしさを失わない社会を目指して ～都鳥映画と保健師～」

講師 有限会社ロングラン 映像メディア事業部

都鳥 伸也 氏



中野氏



都鳥氏

保健師活動に定年はない？生涯現役！

高橋 和子

今回は「さちの会」20周年記念ということで、二人の先生の講演をお聞きしました。最初の講演は「在宅保健師に期待すること」と題して、国保中央会の中野氏より、これから団塊の世代が75歳を迎え、社会保障費が膨大になることが予想されるため、国は「健康寿命を延ばす」という目標を立てた。その目標達成のために市町村は高齢者の保健事業と介護予防を一体的に実施することが求められているが、何分にも人が足りない。そこで、在宅保健師に力添えを願いたいということであった。勿論私達も保健のプロとして協力は惜しまないつもりだ。「さちの会」の活動もそうだが、その気になれば、やり方はいろいろあると思う。しかし、若い頃のようにバリバリ動く訳にはいかない。やはり、国民の健康は国がしっかり予算を取り責任を持ってやるべきだろう。フレイル予防も大事だが、更に若い年代からの疾病予防に取り組んで欲しいと思った。

二つ目の講演は、37歳の若い映画プロデュ

ーサーであり映画監督でもある都鳥伸也氏の話であった。「優しさを失わない社会を目指して」と題して、保健師の応援歌のような話をしてくれた。都鳥さんが、初めて、沢内村を舞台にしたドキュメンタリー映画を作った時に、保健師が村の人たちの健康を守る重要な役割を担っていることを知り、その時から保健師へ熱い視線を送り続けている。その後、震災の被災地を巡り『1000年後の未来へー3.11保健師たちの証言ー』というドキュメンタリー映画を製作した。地域に密着して、地域や住民を丸ごと支える保健師のことを本当に良く分かって下さっているなあと感心し、感動した。今のように混沌とした時代に、「生きる希望を見出せるような映画を作りたい」と奮闘している都鳥さん。彼の作品は全て「人のために何が出来るかを考え活動している人達」が主役である。一見小柄で、物静かな感じのする都鳥さんだが、その内に秘めた想いは熱く、後輩保健師と一緒に聞きたい話だった。今後の活躍を期待したい。

その他の在宅保健師会活動関連

令和元年度都道府県

在宅保健師等会全国連絡会

期日 令和2年2月6日（木）

場所 全国都市会館（東京都）

出席 「さちの会」会長 川島 佐枝子

国保連合会保健事業推進室長 大崎 裕美

講演は、大分県生駒市における高齢者の保健事業について、介護保険の予防と健康づくりを一体的実施している事業の概要を学びました。在宅保健師には、国保の保健事業に従事してもらい、現職の若い保健師と同行訪問等することでその経験を伝える事を期待されています。

事例発表の大分県「虹の会」は、健康状態が不明な高齢者の訪問事業について事例を報告しました。神奈川県「いちょうの会」は、平成25年度から会費を徴収することで、会独自の

事業を開始、健康劇、災害ボランティア研修会実施の報告でした。

まとめ:在宅保健師等の活動を周知するため、会員と国保連合会が連携し、住んでいる地域の一市民として、行政の事業へ参画を期待したい。

ブロック活動報告

中・北毛ブロック

活動の中心は寸劇

世話人 新井 静江

寸劇を初めて10年が過ぎました。始めたころのぎこちなさはすっかりとなくなり、皆素晴らしいスターです。会場により出るアドリブは、適切に地区の様子を取り入れているので、来ていただいた方の共感を得ています。数年前に伺い再度伺ったところでは、「前よりずっと良かったよ。」とほめていただくことが時々あります。「来年も来てください。」と頼まれることも増え、演目を変えて伺っています。

打合せ、反省会等は寸劇終了後のお茶会の時が当てられますが、この時間が有意義で楽しい時なのです。寸劇に伺う時のお土産は、みな齋藤さんが作ってくださっています。また、一年に一度の親睦を兼ねての宿泊定例会は、今年は「ヘルシーパル赤城」でした。会員の楽しみな定例行事になるよう取り組んでいきたいと思えます。



中・北毛ブロック定例会

中・北毛ブロック 健康劇上演一覧

回数	実施日	場 所
1	6月15日(土)	前橋市 富士見町受地会館
2	6月20日(木)	前橋市 鳥取町公民館
3	7月9日(火)	前橋市 嶺町公民館
4	8月18日(日)	前橋市 紅雲町公民館
5	8月25日(日)	前橋市 下川町公民館
6	9月26日(木)	前橋市 表町公民館
7	10月4日(金)	前橋市 高花台公民館
8	11月15日(金)	前橋市 富士見町公民館
9	11月24日(日)	前橋市 三河町公民館
10	1月10日(金)	前橋市 富士見町山口会館
11	2月10日(月)	前橋市 富士見町皆沢会館

西毛ブロック

寸劇を中心として活動

世話人 鬼形 イシ子

令和元年も寸劇を通して地区活動を実施しました。

最近は、すっかり顔なじみになり、サロン参加者の皆さんも楽しみに待っていてくださっています。「去年教わった指体操等を続けています。」という声も聞かれ嬉しい悲鳴です。

「さちの会」会員もサロン参加者と同年齢になり、互いに気持ちが通じ合うようになりました。会員が体験したこと等を寸劇に取り入れて話すことにより、親しみがより増し、参加者と上演者が一体となって実施が出来ます。寸劇活動も地に着き女優も生まれ、「さちの会」会員自身も楽しみながら上演をしています。

「保健師さんの話しはおもしろかった。楽しかった。」だけで終わるのではなく、家に帰っても続けてもらう事が大切だと思います。マンネリ化を防ぐために、シナリオのバージョンアップや新バージョンを取り入れたたりして、いつまでも上演依頼が来るように創意工夫をして行きたいと思えます。

令和元年西毛ブロックでは、悲しい出来事が

ありました。会員が11月に旅立ってしまいました。寸劇の出席も多く、サロンへのお土産も専属に作ってくれ、今年最後の上演を10月30日に終え、12月には新バージョンの練習会と反省会に出席予定でした。いつも優しい笑顔で前向きで、西毛ブロックの要の人でした。「皆さん後は頼みます。しっかり頑張るように。」と声が聞こえてきます。未だ信じる事ができませんが、大先輩の教えを大切にメゲずに頑張るって行かねばならないと思います。



佐俣さんを囲んで

西毛ブロック 健康劇上演一覧

回数	実施日	場 所
1	4月10日(水)	安中市 松井田町南横町公民館
2	5月27日(月)	安中市 松井田町二軒在家公会堂
3	7月18日(木)	高崎市 下中居公民館
4	8月30日(金)	上野村 砥根平9区
5	10月30日(水)	安中市 後閑公民館
6	1月14日(火)	高崎市 萩原公民館
7	2月9日(日)	安中市 梁瀬公会堂

東毛ブロック

交流会を実施して

世話人 高橋 好美

会員の交流会として11月14日にみどり市内の施設等の見学を出席者へ八人で実施しました。まず、岩宿博物館駐車場に集合し、入場料310円を支払い博物館へ入場。二階の常設展示室では、石器等がテーマに沿って展示され、職

員の解説を聞きながら見て回る事ができません。その時は「すごいね!」「へえ!」とわかった気になりましたが、思い出すのは難しくなっています。特に岩宿遺跡は「日本列島に旧石器時代はない」というそれまでの学説を覆したことで有名と資料にあります。中学・高校時代から岩宿遺跡や相沢忠洋氏のことは授業で聞いていたのですが、理解していなかった事を改めて思い知ることとなりました。また、岩宿ドームでは旧石器時代からの地層を観察することができます。一見の価値あります。

その後は、小平の里に移動して手打ちのうどん・そばの昼食。休憩時間を利用して災害支援ボランティア事業の周知で市町村等を訪問した様子の報告がありました。

帰路、大間々町にあるコノドント館ではみどり市の赤城山を背景にしたジオラマで熊の鳴き声による出迎えを受け、コノドント化石や農山村の商家の暮らしや養蚕関係の器具の展示があり小中学生の頃を懐かしく思い出しました。

以前にも「島村の渡し」を視察見学したことがあり、今後もブロック内の名所旧跡の理解を深めながら会員交流を計画していきたいと思えます。



岩宿遺跡にて



群馬県国保連合会関連

特定保健指導利用勧奨事業

実施保険者 桐生市、みどり市、榛東村

群馬県市町村国保における平成30年度特定保健指導実施率は17.4%で、全国43位と低迷しており、実施率の向上を図ることが課題となっています。

そこで国保連合会では、「さちの会」会員を市町村に派遣し、保健指導の必要な住民に対し電話勧奨をする「特定保健指導利用勧奨事業」を実施しました。

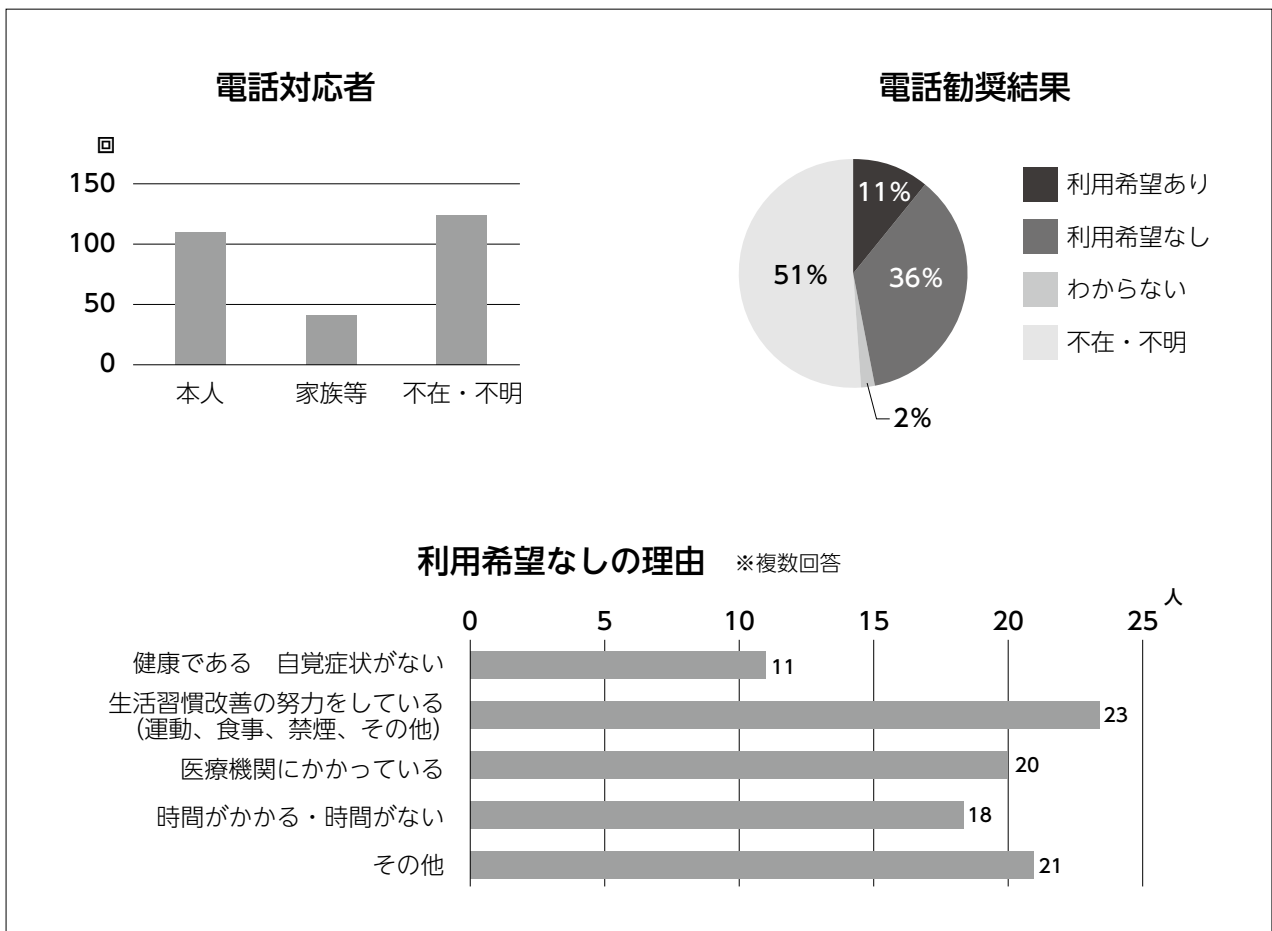
今年度は、桐生市、みどり市、榛東村の3保険者で実施しました。

派遣された会員は、特定健診の結果表を基に、対象となった住民に電話で保健指導の有効性などを説明し、保健指導の利用勧奨を行いました。住民の普段の食事の様子や、生活習慣等を丁寧に聞くことにより、保健指導に繋げることができました。

特定保健指導利用者の増加をめざし、来年度も実施する予定です。

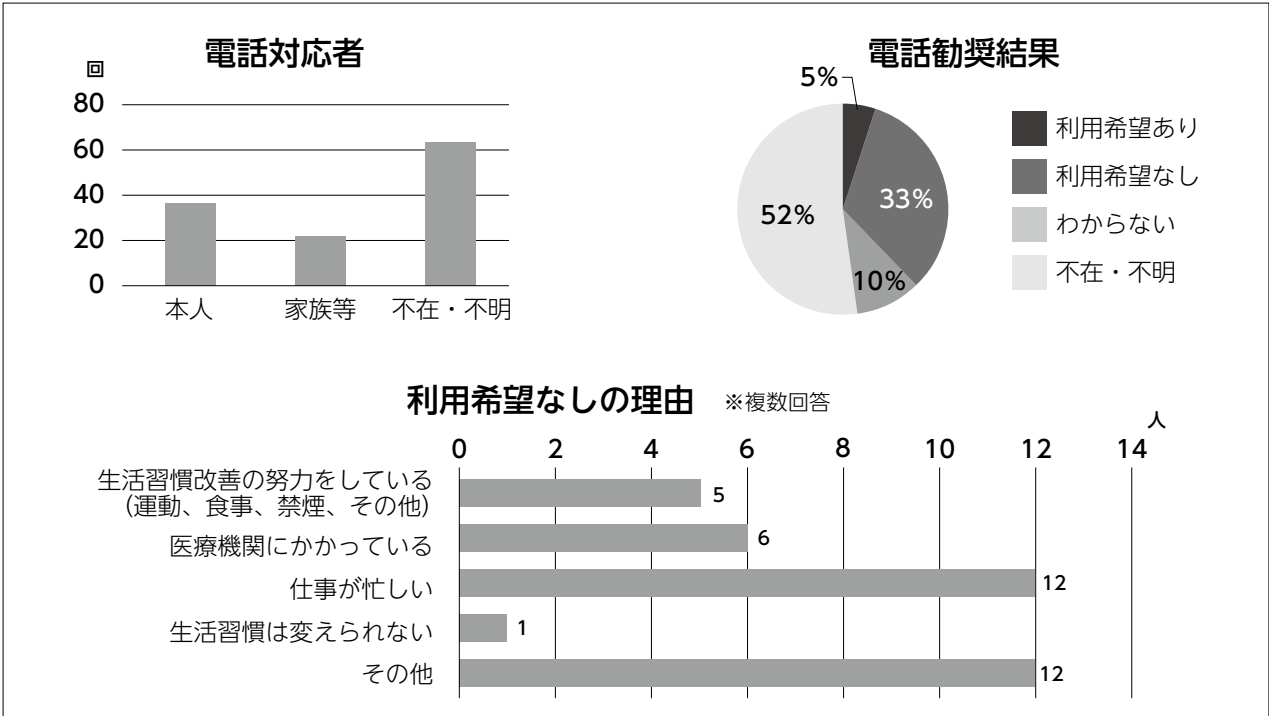
【桐生市実施報告】

- 派遣会員数 2人
- 対象者 平成31年度特定健診受診者で、保健指導対象になった方のうち241人
- 架電回数 259回



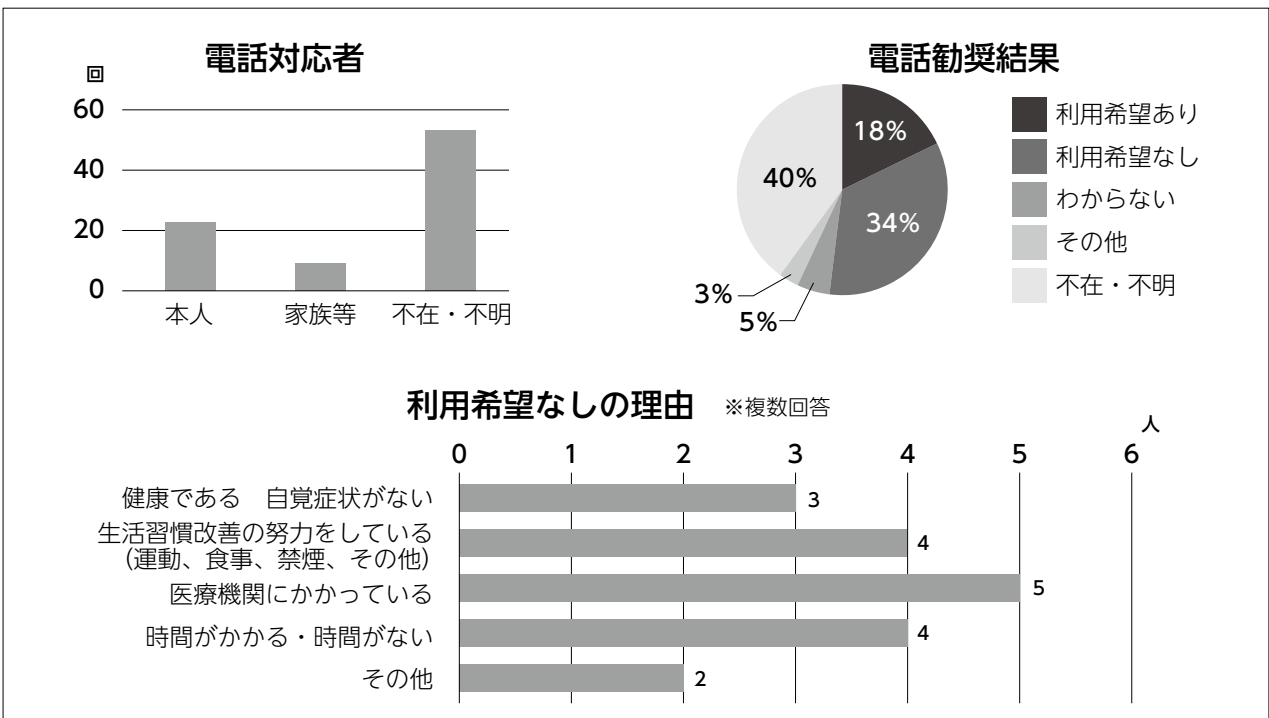
【みどり市実施報告】

- 派遣会員数 2人
- 対象者 平成31年度特定健診受診者で、保健指導対象になった方のうち105人
- 架電回数 119回



【榛東村実施報告】

- 派遣会員数 2人
- 対象者 平成31年度特定健診受診者で、保健指導対象になった方のうち38人
- 架電回数 85回



新入会員紹介

令和元年度は4名の方が「さちの会」に入会していただきました。



よろしくお祈いします。

中・北毛ブロック 大谷 和枝

本年度「さちの会」に入会させていただきました、大谷和枝と申します。

今年度は「さちの会」が創立20周年を迎える年、元号が令和になった年です。そんな年にご縁をいただき「さちの会」に入会できましたことは、幸運なことでした。

今後「ああ、あの記念の年に入会したのだ」と、会を通した活動をする度に、「今年度」は私の記憶から甦り、月日の長さ、深さを容易に思い出させてくれるだろうと思っています。

群馬の地に嫁いできてウン十年…、いまだに冬の寒さと乾燥に慣れない私ですが、新たな人脈と勉強の機会をいただき、自身の見識を深めていきたいと思っています。どうぞよろしくお祈い致します。

在宅保健師「さちの会」に入会して

中・北毛ブロック 金井 幸世

県職員として就職して勤務し平成29年3月に定年退職しました。その後、新人県保健師のトレーナーや看護協会での訪問看護研修担当を経て、今回在宅保健師「さちの会」に入会させていただきました。総会では、各地域で様々な活動を積極的にされていることを再認識できました。また、最近では、会の活動として「災害支援ボランティア要綱」を市町村保健師へ広く知っていただくための説明に従事させていただきました。今後、会員の皆様とつながりが持てるとありがたいと思いますので、どうぞよろしくお祈い致します。

入会への挨拶

西毛ブロック 高野 美恵

この度「さちの会」に入会させていただいた高野美恵です。

「さちの会」には、20数年前養護教諭退職後、育児をしながら伊勢崎市近隣の保健センターで健診等のお手伝いをしていた頃、東毛ブロックでお世話になった経緯があります。

60才で協会けんぽのパート勤務を辞め、その後、高崎市箕郷町に転居しました。慣れない土地で、仕事もせず、所属する場がない空虚感のような思いでいたところ、元同僚からの勧めによって再入会させていただくことになりました。今後は西毛ブロックでお世話になります。どうぞよろしくお祈い致します。

よろしくお祈いします。

東毛ブロック 尾池 久美子

この度「さちの会」に入会させていただくことになりました。

私は、平成29年3月に群馬県庁を退職し、その後の2年間は再任用として働き、平成31年4月からは群馬県国保連合会に週3回勤務しております。

現役時代の頃も、群馬県国保連合会に勤務したことがあり、その当時退職する保健師に「さちの会」の入会を勧めていましたので、自分が退職した時は入会しなくてはとと思っていました。

退職する間際の6年間は介護保険分野に在籍していたので、それ以外の分野の情報に疎く、保健事業や災害対策等については、頑張って情報を入手しなくてはと思います。そのため、入会後は研修会等に参加してしっかり勉強し、自己研鑽に努め、会の活動に貢献していきたいと思っています。先輩方々のご指導を仰ぎ微力ながら頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお祈い致します。

令和元・2年度役員

2年間お世話になります。

会 長 川島 佐枝子
 副会長 武政 礼子
 副会長 田子 真弓（事務局）
 幹 事 高山 陽子
 幹 事 鈴木 いせ
 幹 事 土屋 和子
 幹 事 赤石 はる子



新しく入会して下さる方を随時募集しています。

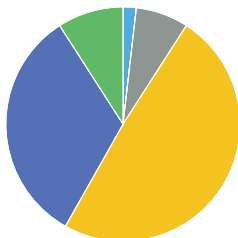
保健師の資格をお持ちの方で、在家庭や非正規雇用などの方をご紹介ください。
 お問い合わせは事務局まで。
 お待ちしております。

令和元年度「さちの会」会員

総数 55名
 内訳 中・北毛ブロック 26名
 西毛ブロック 12名
 東毛ブロック 17名

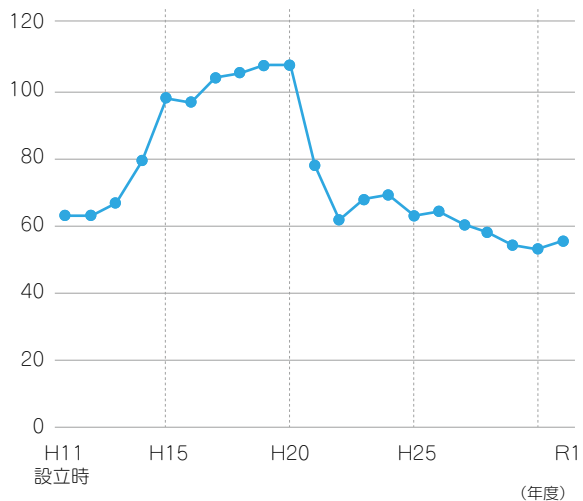
令和元年度「さちの会」年齢構成

（令和2年1月29日時点）



■ 40歳未満
 ■ 40歳以上50歳未満
 ■ 50歳以上60歳未満
 ■ 60歳以上70歳未満
 ■ 70歳以上80歳未満
 ■ 80歳以上

会員数の推移(人数)



群馬県在宅保健師「さちの会」会報さち 第20号

— 創立20周年記念号 —

発行 令和2年3月
 発行人 川島 佐枝子
 事務局 群馬県国民健康保険団体連合会 保健事業推進室
 〒371-0846 前橋市元総社町335-8
 群馬県市町村会館内

電話 027-290-1325
 F A X 027-254-3289
 E-mail hoken@gunmakokuho.or.jp

編集後記

創立20周年という記念すべき年に携わる事が出来、周囲の職員に助けられながら、事業を行ってこられたことに感謝、感謝です。また、令和という新しい元号のスタートと一緒に新たな会の活動に期待したいと思います。会報も今回から縦書きから横書きに変更しました。いかがでしょうか。 (ま)